

長野県 高校入試情報

令和7年度長野県入試の全体傾向

●令和7年度入試の大問構成

- 大問1 論説文 大嶋仁「1日10分の哲学」
大問2 話し合い・表現 「本来とは異なる意味で使われることがある言葉について」
大問3 漢字
大問4 古文・漢詩 「無名草子」
大問4 古文・漢詩 袁凱「京師にて家書を得たり」
大問5 小説 砥上裕将「一線の湖」

大問5題の構成。漢字の読みは読解問題の中で、書きは独立した大問として誤字訂正の形で出題される。各大問に1つ文章記述問題が含まれるので、時間配分に気をつけたい。

★長野県の入試は、『国語の新研究』でバッチリ！

■文章記述問題の対策

例年、文章記述問題が出題されている。本文の内容をふまえたうえで、条件や提示された言葉を用いて、内容や心情を説明させる出題が多い。類似問題を多く解き、記述問題の出題形式に慣れておく必要がある。

新研究で対策！

- 巻頭特集「国語のキホン」(p.2～5)や、ウォームアップ特集「記号選択・記述問題のキホン」(p.26～27)では、文章記述問題の解き方・考え方を、一から丁寧に解説しています。
●「解説・解答集」では、丁寧にわかりやすい採点基準で、文章記述問題の自己採点がしやすくなっています。

■表現・話し合いに関する問題の対策

独立した大問として表現問題が毎年出題されている。提示される資料などの題材が複数にわたるため、問題に応じて資料の内容を的確にとらえられるよう、多様な形式の表現問題に取り組んでおきたい。

新研究で対策！

- 「26 グラフ・図表を読み取ろう」(p.136～139)や、「27 話し合いをとらえよう」(p.140～143)、「28 伝え方の工夫を学ぼう」(p.144～147)などの単元で、ポイントの確認と問題練習ができます。

令和7年度長野県入試では、品詞の識別問題が出題されました。まぎらわしい品詞の見分け方をおさえておきましょう！



★長野県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

単元名／項目		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
出題内容別の傾向	漢語・漢字				
	漢字を学ぼう	●	●	●	●
	熟語を学ぼう	●	●	●	●
	語句を学ぼう		●	●	●
	現代文				
	文脈で語句の意味を考えよう	●			●
	展開をとらえよう				●
	心情をとらえよう	●	●	●	●
	行動の理由・人物像をとらえよう	●		●	
	文章中の表現を味わおう	●		●	●
	話題・情報をとらえよう		●	●	
	指示語・接続語をとらえよう			●	●
	文章を解釈しよう	●	●		●
	理由をとらえよう		●		●
	段落構成をとらえよう	●		●	
	要旨をとらえよう	●	●	●	●
	古典				
	古文のかなづかい・古語を学ぼう	●	●	●	●
	古文の会話・主語をとらえよう	●		●	
	古文の展開をとらえよう	●	●	●	●
	漢文・漢詩を味わおう		●		●
	詩歌				
	詩・短歌を味わおう				
	和歌・俳句を味わおう				●
	文法				
	文の組み立てを知ろう				
	自立語を学ぼう	●	●	●	●
	付属語を学ぼう				
	表現・情報				
	敬語を使いこなそう	●			
	グラフ・図表をとらえよう				●
	話し合いをとらえよう	●	●	●	●
	伝え方の工夫を学ぼう			●	
	課題作文を書こう		●	●	●
	★聞き取り問題				
別出の題傾向	大問数	5	5	5	5
	小問数	39	41	35	36
	記号解答	11	19	13	13
	記述式解答(漢字の読み書きも含む)	28	22	22	23

★新研究で出題した長野県の入試問題(令和7年度)

- p.17大問3 (1) ①熟語 ●p.17大問3 (4) ①熟語 ●p.125 (7) 自立語
●p.178～179文学的文章 ●p.184～185活用問題